

令和2年度事業報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日まで

一般財団法人國學院大學院友会

一般財団法人國學院大學院友会 令和2年度事業報告

令和2年(2020)4月1日～令和3年(2021)3月31日

□令和2年度は、定款に基づく評議員、理事、監事の改選を行ったが、会の運営に関しては前年度末から顕著になった「新型コロナウイルス感染症」の拡大防止のため、本部、支部、会館運営ともにこれまでの諸活動は軒並み自粛せざるを得なかった。特に全国各支部の活動は、全て自粛をお願いした。また法人の諸会議においても対面では難しくなり、決議の省略による方法での手続きを行った。加えて著しい収益の減少により、業務の縮小や基金取崩し等、厳しい状況が年間を通して継続した。明年度以降、このコロナ禍でどのような活動ができるのか、安全安心を優先した様々な方策を考える第一歩の年となった。

I【育成事業】

國學院大學の同窓会組織として、母校の発展と後輩たちの支援活動は必要不可欠なものである。我が国の将来を担う若者たちへの支援について、継続性をもって積極的に取り組むものである。

1) 國學院大學学生等支援

①「学術・スポーツ振興資金」制度による支援〔継続実施〕

イ：学術部門 … 母校所蔵の貴重資料デジタル化に100,000円を支援した。

ロ：スポーツ部門 … 硬式野球部・陸上競技部(長距離部門)・柔道部に各700,000円を支援した。

・母校第二強化部会で好成績を収めた卓球部・ソフトテニス部・スキー部の3団体に、各300,000円を支援した。 ※令和2年度、3年度と継続して支援。

・学術・スポーツ振興資金納入状況：令和2年4月1日～令和3年3月31日/2,606,237円：316件
(前年度参考：平成31年4月1日～令和2年3月31日/3,259,703円：407件)

②教職を目指す学生の支援〔継続実施〕

・小学校・中学校・高等学校それぞれの教員を志す学生に「学習指導要領」を贈呈し、支援していたが、コロナ禍での指導形態が変わったため、渋谷キャンパス、たまプラーザキャンパスの担当部署との協議の結果、支援見合わせとなった。

③「國學院大學キャリア講座」の開催〔継続実施〕

・内容：毎年母校キャリアサポート課と連携して、新たに社会人となる学生達へ、必要なマナー等の講座を提供してきた。今年度は対面開催が中止となり、オンライン形式での開催に協力した。

・講師：(株)オンワードホールディングス 山蔭秀樹氏/サッポロビール(株) 星野茂男氏他

・日時：令和3年1月26日(火) 13:30～14:30

・講座：『あなたは大丈夫？新社会人になる前に知っておくべき「スーツ着こなし&宴席マナー講座」』

・対象：國學院大學在学学生(4年生を優先) ・ズーム参加者：95名

・共催：國學院大學

④「院友会長賞」による支援(学生の部)〔継続実施〕

・学生の活動や多くの大会が自粛・中止となったことから、今年度「学生の部」は該当無しとした。

⑤球場や、競技場、試合場、応援席などに掲げる旗や幟、横断幕などの貸し出しを自粛した。

〔継続実施〕

⑥大学と連携して、学生の就職活動支援〔継続実施〕

・本部が主体的に、全国各支部・部会、職域会等と協力してUターンや就職の支援、アドバイス、情報提供支援体制作りは、思うような連携が取れず、自粛した。

⑦大学が開催する若手OB・OGによる就職アドバイス会等への協力〔継続実施〕

・キャリアサポート課で実施の、3年生対象若手院友による就職アドバイス会に、大学と連携して協力した。

・日時：令和2年12月19日(土)：ズームによるオンライン形式/延べ620名が参加/協力院友33名。

⑧日本の伝統文化体験支援〔継続実施〕

・学生、留学生等を主な対象として日本の伝統文化に関する学び・体験を支援していたが、大学の催し中止に伴い、支援することができなかった。

⑨学生県人会の発足、活動を支援〔継続実施〕

・大学と共に、学生の県人会また県有志の会等発足準備を行っていたが、コロナ禍の影響で中断した。

2) 会館施設の貸与、又は経費の補助

①公益また育成事業に該当する学生の会館利用の際の施設の貸与、経費の補助〔継続実施〕

／施設提供支援事業費：22件 911,900円

② 國學院大學の授業、諸講座への会館施設の貸与、経費の補助〔継続実施〕

・①②ともに学生の会館利用ができなくなり、協力、支援ができなかった。（神道研修部研修会等）

3) 全国の高校生を対象とした文化事業支援

① 「第24回全国高校生創作コンテスト」への協力支援〔継続実施〕

・主催：國學院大學、高校生新聞社（共催）

・協賛：本会、若木育成会 ・後援：文部科学省 他

② 「第16回地域の伝承文化に学ぶコンテスト」への協力支援〔継続実施〕

・主催：國學院大學、高校生新聞社（共催）

・協賛：本会、若木育成会、國學院大學北海道短期大学部・後援：農林水産省、全国高等学校校長協会 他

・①②に支援を実施。但し大学での表彰式・セレモニーは中止となり、本会関係者の出席も見合わせた。

II 【講座・講演会事業】

豊かな人間形成を目的に、「我が国の発展を将来に期するためには、日本の歴史・民族性に基づくものでなければならない」という母校の建学の精神を基に、日本の伝統文化を後世に伝える役目を本法人は担っている。これを踏まえたさまざまな事業を通じて、これまでと同様に積極的に社会貢献に取り組むものである。

・コロナ禍の影響で、本会での全ての講座・講演会等の開催を自粛した。

① 『風土記を読む（第5期）』～『出雲國風土記』を読む～の開催〔継続実施〕

・講師：谷口雅博氏（國學院大學文学部教授）

・第5期開催を自粛した。（全10回：毎火曜日/13:30～15:00/院友会館3階大会議室/定員60名）

② 院友学術振興会公開講座『國學院の古典』（第24回）の開催〔継続実施〕

・内容：協力団体である院友学術振興会（國學院大學で学位を得た方々の会）との共催講座。

・今年度の開催を院友学術振興会とも相談の上、自粛とした。

（例年1月第2週から5日間、1日2コマ/院友会館3階大会議室/定員70名）

③ 生活芸術講座の開催〔継続実施〕

・一般社団法人儀礼文化学会との共催講座。

・儀礼文化において、生活を基盤とし伝統的特色を有する分野を「生活芸術」と位置付け、その文化的芸術的価値として「美」を考えていく講座。日本文化の形と心を考え、体験する講座。

・令和2年6月14日（日）開催中止：【美の文化】『香の楽しさを知る』

講師：蜂谷宗玄氏（志野流香道 第二十世家元）の開催を中止した。

・令和2年9月13日（日）14:00～16:00：【こころの神道】『近世出雲大社の復古事業—神仏関係史—』

講師：西岡和彦氏（國學院大學神道文化学部教授）

本会は募集を自粛したが、儀礼文化学会は会場を学会研修室に移し少人数（27名）で開催した。

④ 令和2年度一般公開講演会の開催／以下の内容で開催を準備していたが、関連諸会議の自粛と合わせて中止した。

講師：國學院大學陸上競技部 監督 前田康弘氏

演題：『歴史を変えた挑戦—選手たちとの舞台裏—』

日時：5月23日（土）/17:00～18:00（支部長会議と同日）

会場：國學院大學渋谷キャンパス 常磐松ホール

入場料：無料 ・定員：300名（予定）（一般聴衆200名。支部長会議関係者140名余）

⑤ 大規模災害被災地公益事業〔平成26年度から実施〕

・大規模災害被災地域における支部活動を支援する。伝統文化や伝統芸能の再興、心の復興など支部が地域で展開する事業に対する支援であったが、年度内全支部の活動自粛を要請した。

⑥ 「公益事業実施規程」に基づき、統一テーマ《もっと日本を学ぼう》を設けて、支部主管により公益的な講演会やさまざまな事業を、支部と共に地域で実施していたが、全支部の諸活動自粛を要請した。

⑦ サロン・コンサートの開催〔継続実施〕

・年3回実施。ジャンルを問わず幅広い楽しいコンサートを地域社会貢献として実施していたが、コロナ禍のため、オンライン等での開催も検討したが、本年度の全ての開催は自粛とした。

⑧ 新規講座・講演会等実施／既存の講座自粛に伴い、新規講座開設は検討しなかった。

III 【会館施設提供事業】

本法人は、広く地域の方々にも有効活用していただける「院友会館」を有することから、この施設が

地域の方々の交流の場となり、それをきっかけとしてさらに地域が活性化するよう、積極的に取り組むものである。

- ・コロナ禍の影響の中で、安全面を考慮し、できる限りの対応を行った。〔継続実施〕
／施設提供事業費 6件 99,000円 (令和元年度 429,820円)

IV【特定寄付】

1) 國學院大學への協力

- ①当初の計画では、母校の「大規模災害学費減免制度」への寄付金として1,000,000円を予定していたが、コロナ禍で困窮している学生を支援するための母校の「緊急修学支援費」へ切り替えて、5,000,000円に増額して寄付を行った。／令和2年7月2日(木) 目録贈呈。(送金7月20日)
- ②國學院大學が進めている全国の高校生対象文化事業への寄付 〔継続実施〕
／200,000円を支援した。(送金7月20日)

V【同窓会事業】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、同窓会事業でもさまざまな活動が大きな影響を受けた。年3回発行をしていた院友会報も、発行発送に大きな費用を要するため、収入激減下の対応として、8月号の発行を見合わせた。例年5月に開催の院友大会、全国支部長会議、一般公開講演会、及び新年院友交歓会(令和3年1月予定)を自粛し、前述のように各支部の総会、懇親会や支部主管公益事業も、令和3年3月31日までは自粛とした。支部の中には、会員の方々に書面や支部会報で報告を行ったところもあった。

1) 会報発行発送事業

- ①《院友会報》の編集発行 〔継続実施〕
 - ・「375号」… 残暑見舞号/8月15日付、8月下旬発送予定の号は、発行を見合わせた。
 - ・「376号」… 新年号/1月1日付、12月中旬以降発送の号は【第375号・376号合併号】の新年号として編集発行した。／紙面は4面とし、広告掲載は自粛した。
母校のホームカミングデー(オンライン開催)のパンフレットを同封した。
 - ・「377号」… 新院友歓迎号/3月21日(日)付、第129期生の卒業式に向けて8面で発行した。
院友へは3月下旬に発送。法人傘下校を除いて、広告掲載は自粛した。
 - ・毎号、プレゼント企画を実施した。〔継続実施〕

2) 会員統括組織化事業

- (1)《支部長会議：通算第40回》の開催を自粛 〔継続実施〕
 - ・例年5月に開催していた対面での会議を自粛し、令和2年7月30日に書面開催として連絡事項等関係資料を全国59支部、4協力団体の支部長・代表者、事務局長へ送付した。
- (2)《令和2年度院友大会》の開催を自粛 〔継続実施〕
 - ・例年5月の支部長会議と同日開催の院友大会も、秋頃の開催を考えていたが、コロナ禍の状況を鑑み、中止とした。
- (3) 母校ホームカミングデーへの協力 〔継続実施〕
 - ・従来のように、母校キャンパスに集い合う来場型の開催は自粛となった。
令和3年1月9日に、オンラインによる開催となり、様々な企画がこの日を皮切りに3月中旬まで開催された。例年は支部担当者が来場出店していた全国支部物産展も、「自宅から物産展」として院友特典付きでインターネット等で3月15日まで展開した。
- (4)《新年院友交歓会》の開催を自粛 〔継続実施〕
 - ・令和3年1月23日(土)に開催を予定していたが、コロナ禍の状況を鑑み中止とした。
- (5) 本会公式ホームページの活用 → <https://www.kokugakuin.or.jp> 〔継続実施〕
 - ・会報の紙面縮小等を補うべく、母校・学生・各支部や院友情報の発信及び会館の状況告知等をホームページ及びTwitter等での発信を行った。／更新：ホームページ54件、Twitter87件
- (6) 院友会員のデータ管理 〔継続実施〕
 - ①院友会報の発送先調査やホームページ住所変更届等による会員情報の更新。
 - ②大学と連携した卒業生の住所調査。
 - ③本会会費管理、発送業務管理。
- (7) 母校校友課との連携
 - ・諸事業、諸行事についても活動自粛が重なる中、業務協力・連携を行った。

- (8) 各支部総会等への出席を自粛
 - ・各支部、各協力団体へは年度内での活動自粛をお願いしており、支部総会や各地区部会、関係会合等も含めて、本部からの参加を自粛した。
- (9) 院友の交流
 - ・例年、院友ゴルフクラブのコンペ開催へ協力を行っていたが、年2回のコンペは自粛となった。
- (10) その他／記念品の作製は、支部総会参加者や来館者、お客様等への記念として作製していたが、支部総会自粛のため、作製を中止とした。

3) 同窓会共通事業

- (1) 「院友会長賞」の贈呈 (院友の部) [継続実施]
 - ・学術、スポーツ、社会貢献等各分野において母校の名声を高めた顕著な活動を称えるものであるが、コロナ禍で、様々な活動が中止・自粛となったため、今年度は院友の部も該当者無しとした。
- (2) 協力団体「院友学術振興会」との協力連携を通して学術の振興に寄与する
 - ・本会協力団体「院友学術振興会」(國學院大學で学位を得た方々の会)の活動支援として、100,000円の特別支援を実施した。(論文集「新國學」編集発行等。) [継続実施]
- (3) 大学への協力 / 以下のことについては、コロナ禍の影響で従来のような協力が出来なかった。
 - ① 「院友子弟等特別選考入学試験制度」の宣伝・広報(会報、ホームページ、支部総会等)。
 - ・会報の発行見合わせ、支部総会の自粛等があり、具体的活動はできなかった。
 - ・大学が実施する「神職養成講習会」は、「第143回」「第144回」が中止となり協力出来なかった。
 - ② 「國學院カード」新規加入の促進協力も、会報の紙面編集状況によりPRが限られた。
 - ③ 古事記学センターの事業、古事記アートコンテスト巡回展示も、支部と連携した協力が出来なかった。
 - ④ 大学開催行事、式典等の開催縮小もあり、例年の協力が出来なかった。
- (4) 院友の図書 整理受入等 [継続実施]
 - ・院友等寄贈図書は、会報では紙面の都合もあり、ホームページで掲出した。/36冊。
- (5) 協力団体との連携/各団体活動自粛もあり、ホームページでの紹介、PRを行った。
- (6) 会員へのサービス/電報サービスの実施 [継続実施]
 - ・結婚・叙勲・褒章・褒賞等へ祝電にて祝意を贈り、会報掲載も実施した。/祝40本、弔11本。
- (7) 会費・寄付金等納入促進を図る
 - ・8月の残暑見舞号発行中止とコロナ禍の影響に伴い、会費等納入の促進ができなかったが、支部やお社等での取りまとめた納入もあった。
 - 納入状況/令和2年4月1日～令和3年3月31日(参考/平成31年4月1日～令和2年3月31日)
 - : 年度会費 3,878,000円 1,293件 / (5,324,000円 1,776件)
 - : 十年会費 3,940,000円 197件 / (5,460,000円 273件)
 - : 十年会費 51,020,000円 2,551件 / 代理徴収 128期生分
 - : 維持寄付金 3,075,240円 267件 / (3,735,440円 328件)
 - : 基本財産寄付金 73,000円 4件 / (42,000円 4件)
- (8) 研修等の実施/従来参加していた諸セミナー、講習会等の多くが開催中止となった。
 - ・10月14日(水) / 「出産・育児・介護休業制度、健康保険の給付」講習会(川津次長)
 - ・12月4日(金) / 税務講習会(吉村課長)
- (9) その他
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止としての政府並びに東京都の発令等に伴い、勤務態勢の変更や時短就業、在宅勤務、開館時間の変更、休館等を行った。

VI【収益事業】

- ・会館の利用促進を図ってきたが、コロナ禍の影響による時短等勤務態勢の変更や開館時間の短縮等、利用に際しての条件も厳しくせざる負えない状況であった。
- ／事業収益:(令和元年度決算額 31,332,008円に対して、決算で、2,706,895円となった。
- ・例年協力を行ってきた大学実施の「神職養成講習会」が、夏期、冬期ともに中止となった。
- ・4階和室3室(きく・さくら・うめ)の利用については、年度を通じて受入れを見合わせた。
- ・東京都感染拡大防止協力金(第1回) / 6月15日申請: 500,000円 / 交付済み
- ・東京都感染拡大防止協力金(第2回) / 7月10日申請: 500,000円 / 交付済み
- ・持続化給付金(経済産業省) / 令和3年1月4日申請: 2,000,000円 / 交付済み

- ・緊急雇用安定助成金／清掃パート、アルバイト学生計6名分：10・11・12月分／令和3年2月28日申請：748,960円交付予定。

VII【法人事業】

- (1) 評議員会の開催…定款に基づき、定時評議員会を開催した。
 - ・第9回定時評議員会／令和2年6月25日（木）に決議の省略によるもの。／評議員総数28名
 - …令和元年度決算、理事選任、監事選任、評議員選任等、基金一部取崩しの件、等を決議した。
 - …事業報告、公益目的支出計画実施報告書等を了承した。
- (2) 理事会の開催…定款に基づき、理事会を開催した。
 - ・第30回理事会／令和2年5月26日（火）に決議の省略によるもの。／理事総数25名・監事総数3名
 - …事業報告、決算、公益目的支出計画実施報告書等を決議した。
 - …理事候補者、監事候補者、評議員候補者の選任に関する件、基金一部取崩しの件等を決議した。
 - ・第31回理事会／令和2年6月25日（木）に開催。出席理事19名（26名中）・監事2名（3名中）
 - …会長・副会長・常務理事の選定の件、顧問・参与の選任、等を決議した。
 - ・第32回理事会／令和3年2月12日（金）決議の省略によるもの。／理事総数26名・監事総数3名
 - …令和2年度事業計画一部変更、補正予算、就業規則一部改正、等を決議した。
 - ・第33回理事会／令和3年3月29日（月）決議の省略による開催。／理事総数26名・監事総数3名
 - …令和2年度第2次補正予算、令和3年度支部活動実施ガイドライン、事業計画、予算等を決議した。
 - …第10回定時評議員会招集に関する件を決議した。
- (3) 業務執行理事連絡会議の開催。…諸事業の実施等に向けて、業務執行理事が連絡会議を開催した。
またコロナ禍の緊急事項等には、連絡を重ねて対応を行った。
 - ・第1回 令和2年 5月11日（月）13:30～ 院友会館役員室
 - ・第2回 令和2年 12月 8日（火）13:30～ 院友会館役員室
 - ・第3回 令和3年 3月13日（土）13:00～ 院友会館役員室
- (4) 監査の実施…定款に基づき、監査を実施した。
 - ・令和元年度下半期分監査
日時：令和2年4月30日（木）／10:00～15:00
場所：院友会館 小会議室において、監事3名により実施した。
 - ・令和2年度上半期分監査
日時：令和2年 11月20日（金）／10:00～15:00
場所：院友会館 小会議室において、監事3名により実施した。
- (5) 定期提出書類の提出。
 - …理事会・評議員会の手続きを経て、「公益目的支出計画実施報告書」を監督官庁である内閣府へ提出した。／6月29日提出。審査を経て9月14日完了。
- (6) 「個人情報保護委員会」を開催した。
日時：令和3年3月29日（月）13:30～14:00／委員4名中2名出席。欠席2名は事前意見徴収。
…適正な取扱いの確保と態勢等を確認した。
- (7) 基金の取崩しを行った。…理事会、評議員会の手続きを経て、10,000,000円を上限とする基金取崩しの承認を得てコロナ禍の運営を行ったが、最終的な取崩しは1,000,000円となった。

VIII【その他 共通事項】

- (1) 設備の補修・改修〔継続実施〕・令和2年度は、竣功34年目。
 - ・修理・補修の実施／1階正面玄関回りの外壁シール打替え工事、外部散水栓用給水管漏水補修工事、等。
会館修繕積立資産の一部取崩しを行った。／865,700円
 - ・必要備品の補充・購入等必要なことに対応した。
 - ・消毒・除菌関係の備品やコロナ禍での状況を踏まえて、必要な対応をおこなった。
- (2) 危機管理など／コロナ禍での職員、来館者の安全・衛生面での徹底を図った。
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止へ向けた本会の取り組みを、職員、来館者共に徹底した。
 - ・会館各室内換気、共有スペースや使用室内等、除菌・消毒、衛生管理をしっかりと行った。
 - ・防災計画等を基に、日常での防災管理の留意徹底を図った。
- (3) 新たな中期計画の作成
 - ・本会財政基盤安定や新規諸活動について、コロナ禍において施策検討は出来なかった。 以上